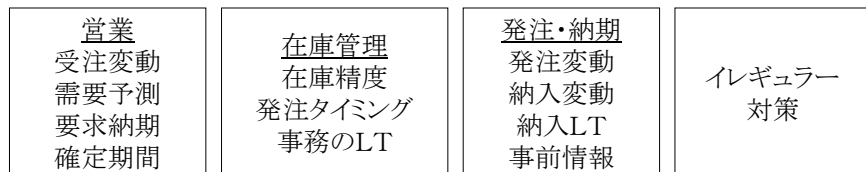
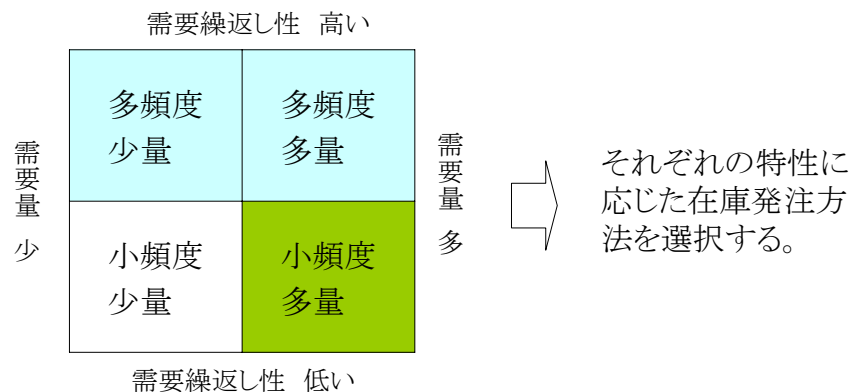


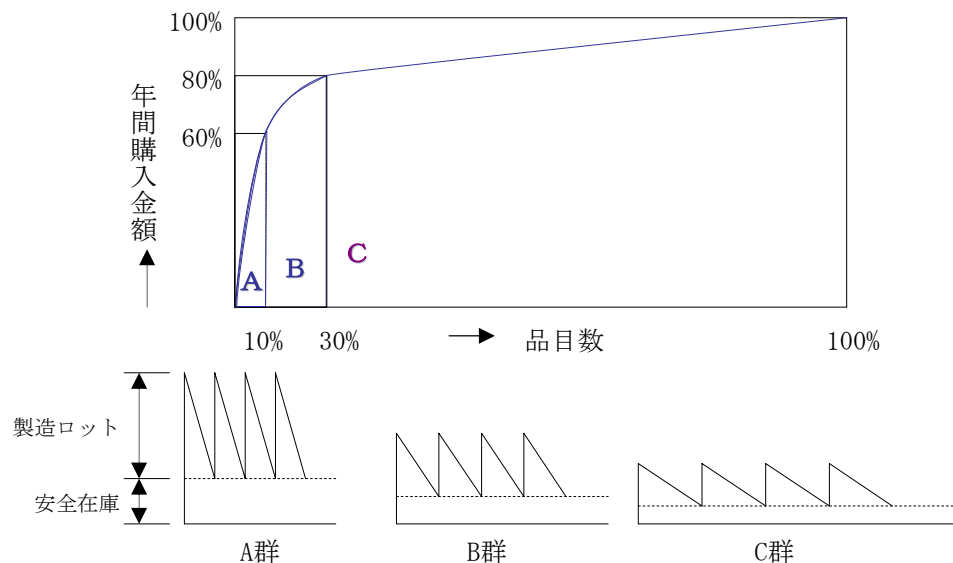
個別の改善とその後の在庫の管理へ



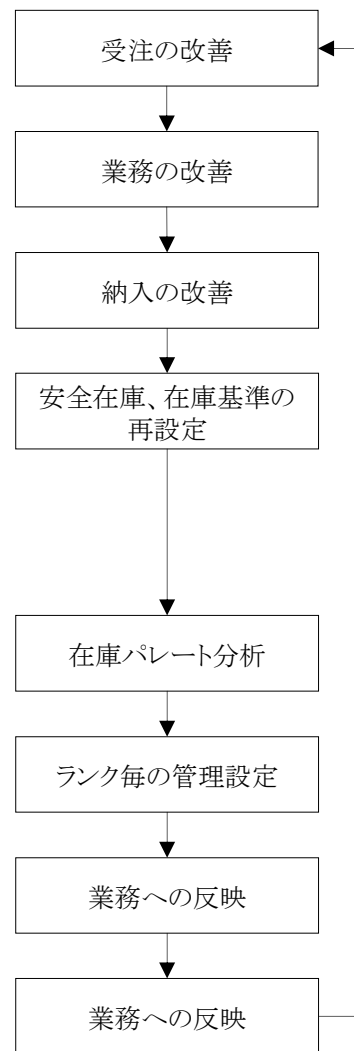
受注特性による在庫管理方式の検討、商品の見直し等



在庫金額からの発注頻度管理で総在庫金額を減少させる



展開ステップ



10・5 在庫削減(物流センター)

無駄の少ないロジスティックスのためには、必要最小限の在庫を保有した上で、売れたものだけを補充することのできる在庫管理システムが必要です。在庫基準は、統計的手法で従来から行われているが、現実には理屈通り行かないのが実態です。その理由は、物量、製品種等の変動や納品の納期遅れ等もあり、それぞれがバラバラに動き、かつ人間系でそれを見ながら調整しているため、管理能力になつていないためでしょう。

この対策のためには、個々の要因毎の正確性の向上と柔軟対応力のためのリードタイム短縮等を限界まで追求する活動を行い、その上で全体の調整を行う組織、しくみを整備することが必要でしょう。

これらをサイクル的に回しつつ、最適化への追求を行うのが良いでしょう。